SAPアップグレードに伴うUnicode変換事例紹介セミナー

本イベント・セミナーは終了いたしました。

ご案内

グローバル対応に必要なSAPの言語環境として、業界標準のUnicode（ユニコード）への対応が重要となっています。現在、SAPアップグレードを検討されているお客様にとって、Unicode化の検討は避けては通れない状況です。特に、現行環境がMDMPである場合、SAP ERP 6.0 へのアップグレードと同時にUnicode化は必須となります。

本セミナーでは、Unicode変換の重要性、進め方をはじめ、弊社が実施した2件のUnicode変換プロジェクトの実績をベースに、アップグレード、Unicode変換のポイントをご紹介します。

開催概要

開催日時

2009年8月27日（木曜日） 14時～17時（受付開始：13時30分）

会場

SAPジャパン株式会社 本社31階セミナールーム（Pacific）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル

会場の周辺地図・アクセスについて（SAPジャパン株式会社）

定員

100名（定員となり次第、受付を終了）

参加費

無料（事前予約制）

主催

- SAPジャパン株式会社
- 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

プログラム

スケジュール	内容
14時～14時5分	**開会のご挨拶**

スケジュール	内容
14時5分～15時20分	**アップグレードに伴うUnicode変換について** IT基盤の技術的動向、ERPを中心としたSAP製品のロードマップを踏まえ、Unicode移行の前提となる考え方やSAP製品のアップグレードとの関連性、技術的な基本要件を整理し、プロジェクトの具体的な進め方や現在利用可能な手段、注意事項などをまとめてご紹介します。 SAPジャパン株式会社
15時35分～16時35分	**MDMP⇒Unicode変換プロジェクト事例のご紹介** 2008年当時、MDMP環境からのUnicode変換に関して、国内での導入事例はありませんでした。 MDISは、「CU&UC手法によるアップグレード」と「Unicode変換」の同時実施、ならびに「大容量データのUnicode変換」の2件のプロジェクトを成功に導きました。 本セッションでは、これらのUnicode変換プロジェクトの実績に基づく工夫点などをご紹介します。 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
16時35分～16時50分	**アップグレードおよびUnicode変換サービスのご紹介** アップグレードやUnicode化の検討にあたっては、企画・構想段階より、「最適なインフラ環境の検討」や「精度の高い作業ボリュームやリスクの見極め」が重要になります。 本セッションでは、アップグレードやUnicode化検討を支援するサービスをご紹介します。 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
16時50分～17時	**質疑応答**

（注）プログラム内容や講師など、予告なく変更させていただく場合があります。

お申込方法

お申込受付は終了いたしました。

お問い合わせ先

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
SAPアップグレードに伴うUnicode変換事例紹介セミナー 事務局
担当：山本、荒木

電話：03-5445-7398

関連情報

関連ソリューション

SCM/ERPソリューション SAP ERP

▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護方針 ▶ 商標について
Copyright ⓒ 2019 MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION SYSTEMS CORPORATION All Rights Reserved.